

第13回 多職種勉強会

令和3年1月29日(金)オンライン開催

『こんな時どうしてる？』

共有しよう！新型コロナウイルス対策』

松阪市では、介護と医療に関わる様々な職種の方たちが顔の見える関係を深め、地域包括ケアを推進していこうと、平成26年より勉強会を開催しています。

13回目の今回は感染症対策について、基本的な知識や対策、松阪地域の現状などを学びました。尚、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、初めてオンラインでの開催としましたが、約170組の参加があり、有意義な学びの時間となりました。

松阪市民病院 感染管理認定看護師 宮村枝里子 氏

平岡内科循環器科 院長 平岡直人 氏

松阪・多気地区地域リハビリテーション連絡協議会 木村圭佑 氏

それぞれのお立場や実際の取り組みから、さまざまな知識や知恵と現状をお伝えいただきました。

- ・新型コロナウイルス感染症の特徴と基本的な予防策
- ・診療や看護、介護の現場で考えられるリスクとそれらに対する対策方法
- ・个人防护具の取り扱い方法
- ・医療機関や介護施設内にウイルスを持ち込まないための留意点
- ・実際の看護、介護、診療現場で行っている取り組み例
- ・介護サービス事業所が苦慮している現状 など

特に対策に関することは、具体的な環境づくりや方法、チェックシートの紹介などもなされました。

また、勉強会終盤では保健所の植嶋所長より、「飛沫拡散防止とマスク」についての現時点での知見と効果について情報提供もいただきました。接触する双方が着用することで、ウイルス曝露量を減らすことができるというデータに基づき、感染拡大の抑制につながるということを伝えていただきました。

何より、講師のみなさまが異口同音に「みんなで協力しあって乗り越えていきましょう」と力強くおっしゃられたことが印象的で、複数の参加者から「心強く思った」とアンケートに記載がありました。

このかわら版を作成している本日は2月17日です。陽性者の報告は全国的に減少傾向にあり、三重県も同様でしたが、昨日は新たなクラスターが介護施設で発生しており、まだまだ気の抜けない日々が続きそうです。ですが、今回勉強会にご参加いただいた方も、都合により参加できなかった方も、それぞれが自分の所属先で様々な対策をとりながら、今後も住民のみなさまの診療や介護に尽力されることと思います。

参加者の感想(アンケートより原文のまま)

病院も外来の傍ら、発熱者に対して、抗原又PCRの検査を行っています。(中略)今後は改善してく点もいくつか見つかりました。ありがとうございました。(医師)



感染対策のマニュアルの必要性を感じた(慣れが怖い)(歯科医師)

宮村師長さんの講演が大変具体的で今後気をつけようと思った点がたくさんあった。(中略)スタッフの休める体制……。勉強になりました。(歯科衛生士)



一般診療所での感染症対策等、平岡先生のお話が大変参考になりました。当院でも再度見直し、スタッフにも紹介します。脱着チェックシートの利用なども、なるほどと思いました。(看護師)

平岡先生のお話の最後に、「過度に恐れな
ない。(正しく恐れる)」というお話がありました。大切なこととして①暗い気持ちにならない。②必ず夜は明ける③みんなではげ
まし合って頑張りよう。というお言葉をいた
だき、少し気持ちが前向きになれました。
入所者、そして職員の命を守る為に、先頭
に立ってみなをはげまして行きたいと強く
思いました。(施設介護職員)

木村氏のお話で各機関の感染対策が具体的に挙げられていたため対策に生かせそうである。(医療ソーシャル
ワーカー)



今できることを、皆で同じレベルでしていくことが、
大切だということがよく分かりました。(介護支援専門員)

◎松阪地域の地域包括ケア推進のため、これからもご理解・ご協力を
よろしくお願いいたします。

事務局：松阪地域 在宅医療・介護連携拠点 ☎ 25-3070 FAX 25-3071
松阪市健康福祉部高齢者支援課 ☎ 53-4099 FAX 26-4035